



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 藤倉化成株式会社
 コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 大輔
 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

上場取引所 東

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	18,579	7.4	713	21.6	762	28.4	417	26.0
27年3月期第1四半期	17,295	△5.7	586	△9.8	594	△24.9	331	△24.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 423百万円 (146.8%) 27年3月期第1四半期 171百万円 (△85.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.75	—
27年3月期第1四半期	10.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	51,828	31,903	55.6
27年3月期	52,905	31,930	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 28,819百万円 27年3月期 28,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	3.7	1,250	3.1	1,300	3.6	700	2.8	21.42
通期	72,000	3.5	2,800	26.8	2,900	12.3	1,600	28.1	48.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	32,716,878 株	27年3月期	32,716,878 株
28年3月期1Q	38,168 株	27年3月期	38,168 株
28年3月期1Q	32,678,710 株	27年3月期1Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和策が継続したことなどを背景に、企業の収益環境や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。海外におきましては、雇用環境の改善が続く米国では個人消費が堅調に推移したものの、欧州ではギリシャにおける債務問題をきっかけに金融不安が拡大するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は185億79百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業利益は7億13百万円（同21.6%増）、経常利益は7億62百万円（同28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億17百万円（同26.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け分野では、国内市場での需要は伸び悩んだものの、海外市場では、自動車販売の好調が続く北米での需要が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は62億11百万円（同11.2%増）となり、営業利益は3億86百万円（同14.2%増）となりました。

② 建築用塗料

建築用塗料部門におきましては、消費増税前の駆け込み需要の反動を受けた前年同期と比べ、リフォーム向け市場での需要が回復し、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は33億75百万円（同4.8%増）となり、営業利益は1億87百万円（同64.2%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、電子部品の小型化などによって、市場規模の縮小と需要の減少が続いており、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は8億66百万円（同7.4%減）となり、営業利益は23百万円（同182.6%増）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどを取扱う機能材料部門におきましては、主力の粘接着材ベースが堅調に推移したほか、メディカル材料分野では国内市場での需要が低調に推移したものの、海外市場での需要の増加もあり、売上高は前年並みとなりました。

この結果、売上高は4億37百万円（同0.2%増）となり、営業利益は37百万円（同166.9%増）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などを取扱う化成品部門におきましては、電荷制御剤の需要は好調に推移したものの、トナー用レジンにおいて、価格競争の影響や海外向けの需要が減少したことなどに伴って低調に推移し、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は4億77百万円（同19.8%減）となり、営業利益は41百万円（同38.0%増）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、前年度の後半より販売を開始いたしましたLED液晶テレビ向け関連の新製品の販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は72億34百万円（同10.3%増）となり、営業利益は38百万円（同53.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億77百万円（前連結会計年度末比2.0%）減少し、518億28百万円となりました。

① 流動資産

配当金の支払いなどによる現金及び預金の減少と債権回収による受取手形及び売掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ7億95百万円（同2.4%）減少し、317億19百万円となりました。

② 固定資産

減価償却による有形固定資産及び無形固定資産の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億82百万円（同1.4%）減少し、201億8百万円となりました。

③ 流動負債

債務決済による支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ7億97百万円（同5.1%）減少し、149億78百万円となりました。

④ 固定負債

社債の償還による減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億53百万円（同4.9%）減少し、49億46百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定が減少したことなどの結果、前連結会計年度末と比べ27百万円（同0.1%）減少し、319億3百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の54.3%から55.6%へと1.3ポイント増加となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より3円21銭増加し、881円88銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,622,810	9,937,768
受取手形及び売掛金	14,155,550	13,511,497
商品及び製品	3,877,880	3,901,272
仕掛品	112,716	84,978
原材料及び貯蔵品	2,163,249	2,281,982
繰延税金資産	458,727	406,040
その他	1,247,550	1,737,492
貸倒引当金	△123,677	△141,538
流動資産合計	32,514,805	31,719,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,134,847	10,156,911
減価償却累計額	△5,142,593	△5,230,415
建物及び構築物 (純額)	4,992,254	4,926,496
機械装置及び運搬具	12,565,269	12,615,214
減価償却累計額	△9,602,852	△9,753,246
機械装置及び運搬具 (純額)	2,962,417	2,861,968
工具、器具及び備品	3,918,282	3,953,371
減価償却累計額	△3,230,805	△3,257,006
工具、器具及び備品 (純額)	687,477	696,365
土地	4,472,253	4,453,280
リース資産	215,084	272,879
減価償却累計額	△119,322	△132,209
リース資産 (純額)	95,762	140,670
建設仮勘定	135,881	154,288
有形固定資産合計	13,346,044	13,233,067
無形固定資産		
ソフトウェア	792,880	742,869
のれん	121,268	89,317
その他	1,408,079	1,328,344
無形固定資産合計	2,322,227	2,160,530
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,718	2,565,932
長期貸付金	57,175	54,609
繰延税金資産	300,315	197,584
その他	2,017,361	1,929,193
貸倒引当金	△32,818	△32,671
投資その他の資産合計	4,721,751	4,714,647
固定資産合計	20,390,022	20,108,244
資産合計	52,904,827	51,827,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,240,981	7,493,908
短期借入金	4,018,469	4,062,259
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	144,693	165,900
未払費用	983,043	1,011,384
賞与引当金	724,305	327,196
リース債務	42,601	48,813
その他	1,121,079	1,369,007
流動負債合計	15,775,171	14,978,467
固定負債		
社債	1,500,000	1,250,000
繰延税金負債	25,943	38,742
退職給付に係る負債	2,686,740	2,646,435
長期未払金	279,818	279,767
リース債務	85,147	109,248
その他	621,791	622,018
固定負債合計	5,199,439	4,946,210
負債合計	20,974,610	19,924,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	16,193,004	16,381,017
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	26,560,355	26,748,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539,343	647,218
為替換算調整勘定	2,568,890	2,329,614
退職給付に係る調整累計額	△954,757	△906,472
その他の包括利益累計額合計	2,153,476	2,070,360
非支配株主持分	3,216,386	3,084,330
純資産合計	31,930,217	31,903,058
負債純資産合計	52,904,827	51,827,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,295,156	18,578,576
売上原価	13,371,189	14,223,545
売上総利益	3,923,967	4,355,031
販売費及び一般管理費	3,337,871	3,642,362
営業利益	586,096	712,669
営業外収益		
受取利息	2,883	8,283
受取配当金	34,607	46,249
固定資産賃貸料	15,766	13,585
その他	44,850	77,858
営業外収益合計	98,106	145,975
営業外費用		
支払利息	17,542	15,854
為替差損	50,422	66,062
その他	22,673	14,392
営業外費用合計	90,637	96,308
経常利益	593,565	762,336
税金等調整前四半期純利益	593,565	762,336
法人税、住民税及び事業税	95,716	149,738
法人税等調整額	111,025	114,578
法人税等合計	206,741	264,316
四半期純利益	386,824	498,020
非支配株主に帰属する四半期純利益	55,934	81,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,890	416,763

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	386,824	498,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,943	110,751
為替換算調整勘定	△265,752	△228,283
退職給付に係る調整額	23,518	48,285
持分法適用会社に対する持分相当額	4,904	△5,744
その他の包括利益合計	△215,387	△74,991
四半期包括利益	171,437	423,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,078	333,648
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,641	89,381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	5,581,461	3,220,403	932,537	435,733	594,487	6,530,535	17,295,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,094	-	2,798	162	-	30,334	39,388
計	5,587,555	3,220,403	935,335	435,895	594,487	6,560,869	17,334,544
セグメント利益	338,041	113,724	8,273	13,834	30,042	82,292	586,206

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	586,206
セグメント間取引消去	△110
四半期連結損益計算書の営業利益	586,096

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	6,210,749	3,375,385	864,560	436,744	477,072	7,214,066	18,578,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	1,309	121	-	19,891	21,321
計	6,210,749	3,375,385	865,869	436,865	477,072	7,233,957	18,599,897
セグメント利益	385,965	186,790	23,379	36,922	41,447	38,303	712,806

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	712,806
セグメント間取引消去	△137
四半期連結損益計算書の営業利益	712,669

(重要な後発事象)

該当事項はありません。